

「地域に根ざした図書館」についての図書館長会意見

1 地区館で行うべきこと

(1) 地域団体支援・連携、地域貢献

保育園・児童館・幼稚園・育成室・学校・町会・自治会などの地域団体と連携・協力を進め図書館サービスを拡大・発展させる。

〈例〉出張お話し会、ブックトーク、団体貸出を通じた教育支援、地域の実情に応じた情報提供、町会活動等への参加

(2) 家庭環境支援

少子高齢社会に対応して地域の家庭環境を支援する。

〈例〉子育て支援情報の提供、介護支援情報の提供

(3) 地域にある資源の活用・連携

地域の情報収集・発信、事業イベントの実施、伝統文化・芸術・地域産業の再発掘など地域にある資源を活用するとともに、資源としての学校等教育施設との連携により地域を活性化する。

〈例〉地域特性を考慮した資料収集や棚づくり、地域の歴史・文化・人物を掘り下げる講座の実施、地域の著者コーナーの設置・充実、大学等との連携によるサービス拡大

(4) コミュニティ形成の場の提供

地域の人々が交流できる企画やイベントを多く実施し、人と人、人と組織を結び付け、地域への愛着を深める。

〈例〉交流企画やイベント、コミュニティスペースの設置、談話室、軽食喫茶

2 各図書館運営にあたっての考え方

(1) 職員育成

- ・図書館業務の基本的部分を着実に進めていくために、職員のスキルアップを図る。
- ・地域での図書館の存在意義と地域密着を考える場合、まず地域住民の利用者の皆さんに親しみをもって利用してもらうことが重要で、そのためには、職員の育成を図りコミュニケーション能力を高めるとともに、スタッフの定着率を高めていく必要がある。

(2) 利用者要望の把握

- ・イベントのアンケートで、地域の利用者の要望・意見が反映できるよう工夫し、意見要望を早期に実現する。
- ・利用者の来館目的を把握し、地域住民である利用者の「コミュニティーニーズの反映」を念頭に運営されなければならない。そのためには、提供するサービスにより利用者がどのような便益を得られたかを検証することが肝要である。

(3) 資料収集・提供

- ・地誌や郷土資料を把握する。
- ・利用者特性・地域特性を考慮した書架構成や特集コーナー設置をする。
- ・地域施設や観光スポットなどの紹介パンフレットを設置する。

(4) 地域との交流

- ・地域施設・町会・商店街との情報交換を更に密にする。
- ・地域の利用者が、地域内で興味を持っている歴史や文化、人物を掘り下げる講座を開催したり、地域の子供やシルバー世代にも楽しんでもらえる催しを開いて図書館の利用を高める努力が必要である。
- ・館長が地域の方と日常的に接触する。
- ・地域商店街を支援する事業を摸索する。
- ・複合施設の利点を生かした、児童館・幼稚園と連携した事業を展開する。